



みことばの いきで いきかえります

エゼキエル
37章 10節

私が命じられたとおりに預言すると、息が彼らの中に入った。そして彼らは生き返り、自分の足で立ち上がった。非常に多くの集団であった。

神様がこの世を創造されたとき、人だけ、神様のかたちに似た霊的存在として造られました。それゆえ、人は目に見えるからだの健康より、考え、心、たましいが健康でなければなりません。エゼキエル預言者がイスラエルの民のために働きをしていたとき、神様が幻を通して、干からびた骨のように霊的に死んでいるイスラエルの民の状態を見せてくださいました。そして、心、たましいが健康になる方法を知らせてくださったのです。

最初に、みことばを預言しましょう。預言とは、神様のみことばを私が代わりにまわりの人々に伝えることです。日曜の礼拝と〈子どもの祈りの手帳〉で受けた、生きている神様のみことばを毎日黙想すれば、私のたましいが生き返って力が生まれます。そのみことばを伝えましょう。2つ目、息を吹き込みましょう。神の子どもになった私たちは、聖霊の神様とともに生きています。ですから、未来のことも、みことばを通してあらかじめ分かるようにしてください、導いてくださいます。(ヨハネ 16:13) 3つ目、干からびた骨を非常に多くの集団に変えましょう！よくない私、小さく見える私が、神様のみことばで生き返れば、他の人に力を与えて生かす者になります。これからは、福音の中で私を生かすみことばを黙想する時間を持ちましょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、私を神様のみことばによって生かしてくださいありがとうございます。これからは、私が生きて、他の人に力を与える者になるように、みことばを握るよう導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



神様のみことばには息があります。そのみことばは、私を生かす最高の方法です。みことばで霊が生きるように助ける2つの運動を実践して、霊と肉と、すべてが生かされたレムナントになりましょう。

みことばの息を心、考え、たましいに吹き入れる運動



01 なわとび
ぴよんとぴよんと飛んで、なわを回す運動です。福音のみことば1か所を1セットとして、なわとびをしましょう。何セットしてもよいです。なわを飛ぶときごとに、みことばに集中して、自然に体力もつくでしょう。

02 水泳

手と足を使って水の中を泳ぐ運動です。水の中に入れば、水でほかの音が聞こえない状態になります。そのときに暗唱する福音のみことばを考えて神様に質問すれば、楽しい水泳時間になるでしょう。



きょうのでんどう

会う人

準備する資料

Grid area for notes and preparation materials.